



消防大学校だより



富樫総務大臣政務官 消防大学校視察

富樫総務大臣政務官が、6月20日に消防大学校を視察しました。

富樫総務大臣政務官は、まず、対応能力訓練装置（大規模災害対応能力訓練システム）を視察しました。この装置は、緊急消防援助隊の部隊指揮能力の向上のほか災害現場における情報収集整理、指揮命令、判断能力等の養成に資するためのもので、消防大学校における教育訓練の中核をなす装置です。



対応能力訓練装置の視察



学生寮の視察

その後、女性利便施設（さくら倶楽部（平成28年3月竣工））及び学生寮を視察した後、消防大学校警防科第101期（60名）の小隊指揮訓練を見学しました。見学に際し、「皆さんは地域の代表として消防大学校へ入校している。自分の兄も消防大学校の救助科第25期の卒業生であった。兄からは、この消防大学校で同じ志を持

つ仲間達と消防人としての誇りを持って訓練を乗り越えたと聞いている。是非、皆さんも消防大学校で得た知識を今後の活動で発揮し、国民の安心・安全確保のため、また故郷のために貢献することを大いに期待している。」との激励の言葉を述べ、小隊指揮訓練を熱心に見学しました。

また、消防大学校の実戦的な訓練施設である「震災訓練施設」、「実火災体験型訓練施設（ホットトレーニング用施設）」、火災調査科の模擬家屋燃焼実習で使用した家屋も視察しました。



警防科の学生に激励を行う富樫総務大臣政務官



警防科の小隊指揮訓練の見学

問合わせ先

消防大学校庶務課
TEL: 0422-46-1711

■ 新任消防長・学校長科第22期、第23期の実施

消防大学校では、総合教育において、消防吏員として消防事務に従事した経験がない一般行政職から消防長や消防学校長に任命された方を対象として、その職に必要な知識及び能力を総合的に修得させることを目的に「新任消防長・学校長科」を設置しています。

本年度の新任消防長・学校長科では11日間（教育時間60時間）にわたり、最新の消防行政の動向に関する講義のほか、校外研修及び図上訓練を実施し、第22期（4月18日～28日）の10名、第23期（5月9日～19日）の44名、計54名全員が卒業しました。

研修では、消防庁長官を始め、消防庁幹部による最新の消防行政の動向に関する講義、全国消防長会長による消防長としての役割を主題とした講話、各人が抱える課題についての討議、訓練礼式、そして危機管理広報等を通じて、組織のトップとしての職責を認識するとともに心構えについて学びました。

また、実科訓練として災害発生時の指揮シミュレーション訓練や装備を装着して実火災体験型訓練（ホット

トレーニング）の見学を行い、指揮者の状況判断と命令の難しさ、重要性等の理解を深めるとともに、火災現場の各隊員の活動を理解しました。

研修を終えた学生からは、「現場における大変さ、実態を肌身で感じ取ることができ、消防業務の重要性、消防長・学校長としての職責の重さについて、改めて認識を深めることができた。」など、教育訓練全般及び学生相互の交流を含めて、有益であったと評価する意見が多く寄せられました。

今後は、一般行政部門の幹部職員としての経験に加え、消防大学校で学んだ知識・技術を活かし、消防組織の長として消防防災体制の発展に向けて、大いに活躍されることを期待しています。



青木消防庁長官による講義



高橋全国消防長会会長による講義



装備着装訓練



実火災体験型訓練（ホットトレーニング）の見学

問い合わせ先

消防大学校教務部 久富
TEL: 0422-46-1712